

## 愛知県における産後ケアの取り組み

産後ケアとは、出産後の母親や赤ちゃんが心身ともに健康を保つために行われるサポートやケアのことを指します。産後は、女性の体が妊娠前の状態に戻るための回復期間であり、ホルモンバランスの変化や育児のスタートによる生活環境の変化が大きい時期です。この時期に適切なケアを受けることで、母親の健康を守り、赤ちゃんとの絆を深めることができます。出産後、母親の心身のケアと赤ちゃんの健やかな成長を支える「産後ケア」は、近年注目を集めています。特に愛知県では、自治体や医療機関、地域の助産師が連携して、母親とその家族が安心して子育てを始められるよう、多様なサポートを提供しています。本コラムでは、愛知県で行われている産後ケアの現状とその意義についてご紹介します。

### 愛知県の産後ケア事業の特徴

愛知県では、多くの市町村が産後ケア事業を展開しており、助産師や看護師が中心となって母親のケアと赤ちゃんのサポートを行っています。主な特徴として以下のようなサービスが挙げられます。



### 宿泊型産後ケア

母親と赤ちゃんが数日間施設に滞在し、助産師や医療スタッフのサポートを受けることができるサービスです。名古屋市をはじめ、愛知県内のいくつかの自治体でこのサービスを提供しています。特に初産で育児に不安を感じている母親に人気があり、授乳指導や赤ちゃんの体重管理など、具体的な育児スキルを学ぶことができます。

### デイケア型サービス

日中だけ施設を利用し、育児相談や母親のリフレッシュを目的としたケアを受けられるサービスです。近隣の育児中の母親と交流できる場としても活用され、育児に孤立感を感じやすい時期に役立っています。



### 訪問型ケア

産後間もない母親の体調や、赤ちゃんの状態が心配な場合、助産師が自宅を訪問しサポートするサービスです。愛知県では、この訪問型ケアを充実させる自治体が増えており、母親が自宅で安心してケアを受けられる仕組みが整っています。



## 具体的な取り組み事例

例えば、名古屋市では「産後ケア事業」の一環として、地域の助産院や産後ケアセンターと連携し、宿泊型・訪問型のサービスを提供しています。

費用の一部を自治体が負担するため、経済的にも利用しやすいのが特徴です。

また、一宮市では訪問型の産後ケア事業が実施されています。助産師が自宅に訪問し、授乳指導や母体の体調チェック、育児アドバイスをを行うことで、家庭環境でのサポートが可能です。さらに、愛知県全体として、自治体や地域の医療機関が協力し、産後ケアの利用を促進するための広報活動も積極的に行っています。特に初産の母親や支援が必要な家庭に対しては、費用の一部を助成する制度を整え、利用しやすい環境作りに努めています。助産師による育児相談会やオンライン相談も積極的に実施されており、新型コロナウイルスなどの感染症の影響で外出が難しい時期にも柔軟に対応できる体制を整えています。

## 愛知県での産後ケアの意義

愛知県の産後ケア事業は、母親の身体的・精神的な回復を支えるだけでなく、育児に自信を持てるようになるための重要なステップです。また、地域社会全体が母親と赤ちゃんを見守り、支える風土を醸成する役割も果たしています。これらの取り組みが全国的なモデルケースとなることで、日本全体の産後ケアの発展にも寄与することが期待されます。



## 今後の課題と展望

愛知県の産後ケア事業は着実に広がりを見せていますが、さらなる改善の余地もあります。例えば、産後ケアを必要とする母親全員が十分にサービスが利用できるよう、利用枠の拡大や地域間の格差解消が課題となっています。また、父親や家族全体の育児参加を促進するプログラムの充実も求められます。愛知県はこれからも産後ケアの充実を図り、母親が孤立せず安心して子育てに向き合える社会づくりを目指しています。

産後ケアの利用が母親や家族全体の幸福感を高める大きな助けとなることを、多くの方に知っていただきたいと思います。

※愛知県内では、自治体ごとに対象者や費用負担の条件が異なるため、詳細は各自治体の窓口やウェブサイトを確認してください。

